

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科1年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	視能矯正学各論Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期	前期	教室名	第2合同校舎702教室
担 当 教 員	村上 裕美					
実務経験と その関連資格	【実務経験】 視能訓練士として神戸救済会病院勤務1年半、眼科一般を学び、その後兵庫医大にて斜視弱視・神経眼科を中心に眼科での一般検査訓練を18年行い、ささもと眼科にて一般検査・斜視外来を担当した。 【関連資格】 視能訓練士、日本弱視斜視学会会員					
《授業科目における学習内容》						
斜視弱視の基礎的な知識をまとめ、斜視学の導入授業として、斜視の基本を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
平常点：20%(小テスト) 本試験：80%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第3版(小林 義治、松岡 久美子、臼井 千恵、岡 真由美編集:文光堂,2022) 視能学エキスパート 視能訓練学第2版(若山暁美 他編集,医学書院,2023)						
《授業外における学習方法》						
当日使用したテキスト・レジュメを元に復習し覚えるべき事を覚え、不明な点は翌日質問する						
《履修に当たっての留意点》						
学んだ事をノートにまとめ覚える練習を繰り返す。毎日復習する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	斜視とは何か概念を学ぶ		視能学・レジュメ		
	各コマにおける授業予定	斜視の定義・診断p312～318 眼球運動 p342～343				
第2回	授業を通じての到達目標	斜視とは何か概念を学ぶ		視能学・レジュメ		
	各コマにおける授業予定	斜視の定義・診断p312～318 眼球運動 p342～343				
第3回	授業を通じての到達目標	斜視検査の入口の検査であるカバーテストを理解する		視能学・レジュメ		
	各コマにおける授業予定	小テスト・カバーテスト・眼球運動検査 p313～328 Hirschberg				
第4回	授業を通じての到達目標	斜視検査の入口の検査であるカバーテストを理解する		視能学・レジュメ		
	各コマにおける授業予定	小テスト・カバーテスト・眼球運動検査 p313～328 Hirschberg法				
第5回	授業を通じての到達目標	眼位図示でき理解する		視能学・レジュメ		
	各コマにおける授業予定	小テスト・カバーテストの説明・眼位の図示・プリズムの説明・中和法				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	眼位図示でき理解する	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	小テスト・カバーテストの説明・眼位の図示・プリズムの説明・中和法		
第 7 回	授業を通じての到達目標	近見立体視検査理論を学び手順を覚える	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	小テスト・近見立体視検査P339～366		
第 8 回	授業を通じての到達目標	眼位を図示しプリズムを用いるどうなるかを考える	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	小テスト・眼位の図示・プリズムの説明・中和法		
第 9 回	授業を通じての到達目標	眼位を図示しプリズムを用いるどうなるかを考える	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	小テスト・眼位の図示・プリズムの説明・中和法		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	内斜視の分類ができ特徴を覚える	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	小テスト・斜視の各型・内斜視・外斜視 p355～366		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	外斜視・その他の斜視の分類を覚える	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	小テスト・斜視の各型・内斜視・外斜視 p355～366 表の作成準備		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	斜視各型をまとめ覚えましょう	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	各型の表作成		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	プリズム使用にて内斜視作る理論	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	斜視各型小テスト 眼位検査(Hirschberg法・Krimsky法)・SPCT		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	上下斜視を理解する	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	眼位の図示上下斜視の時 対応も併せて		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	眼球運動を理解する	視能学・レジュメ	
	各コマにおける授業予定	眼球運動と作用筋を理解し実習につなげる		